

仁愛女子短期大学だからできる！ 課題探究プログラム (保育・教育系)



高校生対象に、課題探究(保育・教育系)のお手伝いをいたします。本学の教育環境を活かした探究活動を行ってみませんか？

仁愛女子短期大学 課題探究のメリット

① 保育・教育に関する専門家(大学教員)がいる

保育、教育、心理、表現活動(身体、造形、音楽など)等、様々な専門分野を有する大学教員がいます。

個別指導も対応可能です。 ※参加人数によっては、グループ指導になります



② 幼稚園と保育園が隣にある

隣に保育現場があることで、子どもたちと関わったり、観察したりすることはもちろん、保育者にヒアリングすることもできます。

※新型コロナウイルス等の感染状況によっては、近距離での関わりが難しい場合があります



③ 専門書や絵本がたくさんある(図書館を利用できる)

本学の附属図書館には、課題探究に役立つ様々な分野の専門書があります。また、「**絵本の部屋**」には、子どもの年齢や発達に合わせた絵本が多数あります。



④ 施設や設備が利用できる

PC・インターネット、スクリーン・プロジェクター、マイク等本学の施設・設備をご利用いただけます。

PC(PowerPoint等)で資料を作成し、探究の成果をプレゼンすることができます。



保育の課題探究実施レポート（2023.8.2実施）

県内の高校生を対象に「保育の課題探究」イベントを開催しました。

【スケジュール】

9：30 オリエンテーション・課題設定

興味のある保育分野の専任教員がサポートし、深めたい課題を決定。
参加者に教員が付き、探究の方法や資料のまとめ方等を学習しました。

10：00 幼稚園見学

すぐ隣にある附属幼稚園で、課題探究の情報収集。
観察の方法や子どもの発達についても教員から学びました。

11：00 資料作成

幼稚園で集めた情報をまとめながら発表のスライド作成。（1人1台PC貸出）
教員からアドバイスを受け、課題をより深めました。
※パワーポイント初心者には、操作方法も教えます。

12：00 昼食

13：00 課題探究・追加情報の収集

午前中に引き続き、スライド作成。
追加で情報収集を希望する参加者には、幼稚園で追加の観察や幼稚園教諭にヒアリングを行いました。

15：00 発表

1日の探究の結果を発表しました。



【お問い合わせ・お申込み】
仁愛女子短期大学 入学・地域支援課
TEL:0776-43-6609
E-mail : nyusi@jin-ai.ac.jp

ご希望の
①日時
②参加人数
③簡単な探究の内容
をご連絡ください

参加者の成果(作成したスライド)

周りの子とちょっと 気にかかる子の発達について

なぜこのテーマなのか

- 自分の身近な人に発達障害をもった人がいる
小さい頃の苦勞
- 教室で座って先生の話の聞いているのが難しい
 - 話を理解するのが難しい
 - 先生は特性を理解してくれていなかった
 - 集中力が持続しない

だから小さい頃からそうした様子が見られるのかを調べたいと思った

年長さんのとある男の子の様子を観察してみた

- いろんなことに興味があるようにみえた
 - ▶今の活動とは関係のない物を触る(プール活動中に虫取り網を触る)
 - ▶プールに飛び込もうとする(ほかの子は飛び込まない)
 - ▶プール終わりでシャワーを浴びる場面でバケツに入っている水の中に服を入れて遊びだす
- 着替えがほかの子よりゆっくりだが自分でできる。が、先生の助けが必要な場面もある
- 人懐っこい
- 入園当初からすごく伸びたと聞いたので実際に聞きに行った

その子に主に関わる先生へのインタビュー①

- 3歳
- 集団行動が苦手
 - おやつ、給食が1口も食べれない
 - 家から持ってきた普段なら食べられる物も環境が変わると食べれない
 - 少しずつ自分の好きなものは食べられるようになる
 - 運動会は本番だけ
 - その子が好きな物を使った活動を軸にして、園を受け入れてもらう
- 4歳
- 基本は1対1の関係性の中で信頼関係を築くことを優先した
 - 友達や先生の名前が出る
 - 自分の好きな遊びをしないと次にすすめない
 - 運動会の練習はほとんど見てるだけ少し参加はできる

その子に主に関わる先生へのインタビュー②

- 5歳(現在)
- みんなと共有するのが苦手だけど3人くらいの少人数ならば交流できるようになってきた
 - 運動会では、周りの子となんでも一緒につらいので、先生同士で話し合って、最善の状況を作ることにした
 - 先生と交渉ができるようになってきた(友達とも遊べて自分の好きなこともできるように)
 - 見通しが大切、次の活動のイメージを具体的に伝える
 - 友達との関わりが増えていて今が一番のびている

観察と先生のインタビューから

- 先生が子供に行う支援のバランス
- たくさんほめて愛情を贈る
- 信頼関係
- 子供が小学校に入学しても快適に過ごせるようにサポートする

遊びの違いによる 2歳児と5歳児の特徴

探求の目的

遊びの違いから2歳児と5歳児の特徴を明らかにする。
→2歳児から5歳児の成長をもう少し具体的に知りたいため。

探求の方法

水遊びを観察して2歳児と5歳児の違いを比較する。

2歳児の水遊び

一人一人がそれぞれ違う遊びをしていた。
一つのスペースに5つぐらいの遊びがあった。
じょうろ、色水、泡、水風船、ウォーターベッド

→やりたい遊びをふやして園児たちが主体的に選べるようにする。
体で夏を感じさせる。小プールに入ると怖がってしまい緊張してしまう。先生たちが工夫し、きっかけを作ったり素材を楽しませる。先生がお手本を見せて興味をひかせる。

5歳児の水遊び

ルールをよく守って遊んでいた。
協力し合いながら遊んでいた。
ボールを早く見つける遊び、棒を使って泳ぐ遊び（スーパーマンごっこ）、流れるプール

→スリルがあるほうが楽しく、競争することに喜びがある。大きなプールなのでダイナミックに遊べる。名前も工夫することで更に楽しく感じさせる。

まとめ

2歳児では、プールに入る準備として水になれる遊びが中心であった。5歳児では、プールに慣れているため思いっきり楽しめてスリル感がある遊びが中心であった。そのためには2歳児からの積み重ねが必要であることが分かった。

2歳児では思い思いに遊んでる園児たちが多かったが、5歳児ではみんな協力したり競争したりしていた。ボールを早く見つける遊びは5歳児ならではの遊びだと考えられる。

今回は2歳児と5歳児に絞ったが、段階的な特徴を見るために、今後は3歳児4歳児についても考えていきたい。

高校での探求活動をブラッシュアップした参加者

幼児の生活

微細運動と見通し能力

1

探究の背景・目的

テーマ背景

- 子供が好きだから
- 幼児独特の手指の動かし方を知りたかった
- 幼児の見通し能力について気になったから
- 将来保育の仕事に就くにあたって、幼児についての知識を身につけたかったから

探究の目的

- 幼児の日常生活の中で見られる微細運動を知る
- 将来の仕事に活かす知識をつける

2

探究のアプローチ

3, 4, 5歳の微細運動と見通し能力

作品から見られる見通し能力を観察する

&

工作場面での微細運動を観察する

3

手指の操作の発達

- 3歳
- ・顔らしきものを表現する
 - ・片手で紙を動かしながらはさみで形を切り抜くことに挑戦し始める
 - ・「頭足人」を描く
- 4歳
- ・道具を使う手と素材を使う手を支える手という両手の機能分化が進む
 - ・四角形をかく
 - ・人物画で胴体を表現する
- 5歳
- ・積み木遊びの場面で「斜め」を含む階段の構成に挑戦し始める
 - ・三角形をかく
 - ・横向きの人物画を表現し始める
 - ・道順をあらかじめイメージしてかく

4

結果 1

| 観察してわかったこと |

- 3歳
- クレヨン ・ごしごし塗る、円を描くように塗る、点を打つように塗る
 - ・力強く描いたり塗っているため全体的に色が濃い
 - ・ピンク、青、赤などいろんな色を使ってカラフルに塗っている
- 絵の具
- ・色が混ざっている
 - ・紙全体にひたすら塗る
- 塗り絵
- ・線の中におさめて塗る
 - ・線を無視して自由に塗る
- おやつ
- ・ジュースの容器の持ち方が一人ひとり
違い個性があった



結果 2

- 4歳
- 絵の具 ・色が混ざらないように塗る
 - ・丸、線など形がわかるものを書く
 - はさみ ・曲線がきれいに切れている
 - おやつ ・袋を立てて持っていた
 - 3歳と4歳で袋の持ち方と開け方はあまり変わらない
- 5歳
- 遊び ・コマ回し
 - ・ちょうちょ結び
 - ・ボタンつけ
 - ・箸で豆つかみ
 - ご飯 ・トングで配膳
 - ・バンダナをたたむ



年齢別おすすめの製作・遊び

- 3歳
 - ・紙皿を使ったひまわり作り
 - ・絵の具を使ったマーブリング
 - ・バブルアートでお絵かき
 - ・粘土あそび
- 4歳
 - ・紙コップで作る飛ぶロケット
 - ・折り紙を使ったリース作り
 - ・ペットボトルを使ったアクアリウム作り
- 5歳
 - ・フラワーペーパーで作るちょうちょ
 - ・スクラッチ技法で遊んで作る牛乳パックうちわ
 - ・牛乳パックを使った手作りコマ



7

製作のポイント

- 紙皿を使ったひまわり作り
折り紙をちぎる動作やのりで貼る動作を取り入れる
- 折り紙を使ったリース作り
手の力量を調節する調整力を身につけるために葉っぱの形をはさみで切る
- 牛乳パックを使った手作りコマ
見通し能力を身につけるためにマスキングテープなどで装飾する

8

考察

| 絵の具の使い方 |

- 3歳児では絵の具やクレヨン色が混ざっていたり、紙全体に塗っていたりしたことから見通し能力があまり身につけていない
- 4歳児は絵具の色が混ざらないように見通して塗っている

| はさみの使い方 |

- 切りやすいようにはさみの奥を使って切ることで見通しをもって行動できている

| 年齢に応じて |

- 年齢が上がるにつれて手指の操作がしやすくなることで一人でできることが増えていく
- 4歳児からは見通しをもって行動できている子が増えている

9

まとめ・結論

| まとめ |

- うまくできている子、うまくできていない子など一人ひとり個人差がある
- 兄弟がいる子は上の子を見て生活しているため、影響を受けやすく、上の子を真似して行動する
- 3歳児ではこだわりなく自分のイメージで描く
- 5歳児では微細運動を向上させる遊びを取り入れている
- 実際に物を触って体験することが大事
- 年齢に応じて微細運動と見通し能力を向上させる遊びや活動を取り入れる

10

今後の展望

- 保育体験・保育探究に参加して幼児と関わる時間を設ける

↓

微細運動の観察(箸の使い方、筆の使い方、はさみの使い方)

- 微細運動と見通し能力について詳しく知る
- 年齢にあった製作や遊びを考えてみる

11

参考文献・謝辞

- 子供の発達と保育の本
- 保育士バンク

仁愛女子短期大学 幼児教育学科 増田翼先生
内田雄先生

ご協力いただきありがとうございました

12